

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第15期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社豆蔵ホールディングス
【英訳名】	MAMEZOU HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 荻原 紀 男
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
【電話番号】	03(5339)2100
【事務連絡者氏名】	取締役財務・経理部長 南口 和彦
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
【電話番号】	03(5339)2100
【事務連絡者氏名】	取締役財務・経理部長 南口 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第1四半期連結 累計期間	第15期 第1四半期連結 累計期間	第14期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,240,289	2,092,237	9,411,030
経常利益 (千円)	149,648	114,060	928,998
四半期(当期)純利益 (千円)	96,262	51,264	593,280
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	97,773	59,847	619,205
純資産額 (千円)	2,725,514	3,236,980	3,262,144
総資産額 (千円)	5,582,587	5,842,474	6,039,152
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1,120.61	588.72	6,870.49
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1,087.31	570.69	6,666.97
自己資本比率 (%)	48.1	55.0	53.6

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

(共通支配下の取引)

当社は、平成25年4月25日開催の取締役会において、当社の連結子会社(出資比率100%)である株式会社オープンストリームとアクシスソフト株式会社が合併することを決議し、連結子会社の両社が合併契約を締結いたしました。なお、詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、持ち直しつつあり、自律回復に向けた動きもみられるものの、海外景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しすることがリスクとなり、まだまだ不安定な状況にあると思われます。

情報サービス産業では、第157回全国企業短期経済観測調査(日銀短観)によると、2013年度のソフトウェア投資計画額は、対前期比でおおむね増加傾向といえます。しかし、一方で、経済産業省の特定サービス産業動態統計(5月分)によると、「受注ソフトウェア」については、売上が前年同月を下回る傾向が続いており、現時点では投資意欲が必ずしも実績に反映されておらず、今後の回復に期待が集まるところです。

このような状況の下、当社グループは、技術力世界を目指しつつ、最新のコンピュータ技術を駆使し、お客様企業の業務を変革するサービスの提供を行ってまいりました。すなわち、情報サービス産業全体では好況とは言えないものの、お客様企業のITニーズが高い領域は確実に存在しています。そのような領域を的確にあげり出し、適切な技術を用いてお客様企業のお役に立つシステム提供を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,092,237千円(前年同期比6.6%減)、営業利益は、136,568千円(前年同期比17.9%減)となり、経常利益は、114,060千円(前年同期比23.8%減)、四半期純利益は、51,264千円(前年同期比46.7%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### 情報サービス事業

情報サービス事業では、クラウド化への対応をはじめ一般事業法人様向け基幹システム再構築案件、デジタルコンテンツの暗号化といった映像配信関連案件、Android関連案件といった技術的要求の高度な案件が引き続き好調でした。また、プロダクト製品として開発販売していますBiz/BrowserVIは、堅調でした。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,842,606千円(「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高(以下同じ))(前年同期比8.3%減)となりました。

以下では、情報サービス事業における売上高と概況を部門別に記載します。

#### (ビジネス・ソリューション部門)

事業法人向けの基幹システム再構築案件、特にクラウド化への対応が引き続き堅調です。また、デジタルコンテンツの著作権管理に係るコンサルティング、ソリューション提供は引き続き好調です。さらに、スマートフォンを利用したサービス提供サイトなどが堅調です。ただ、前第1四半期連結累計期間では、大型開発の納品があったことから、売上高前年同期比がマイナスとなっています。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,655,535千円(前年同期比8.3%減)となりました。

#### (エンジニアリング・ソリューション部門)

自動車向けのコンサルティングが堅調です。自動車関連では、ナビゲーションシステムの機能向上に関する研究、車載カメラにおける画像解析の研究、自動車向け組込ソフトウェアの規格統一に関する研究といった研究関連が堅調です。また、スマートフォン向け画像配信の暗号化に係る領域が堅調です。さらには、医療機器関連の画像改良コンサル等も堅調です。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、133,932千円(前年同期比2.6%増)となりました。

#### (教育ソリューション部門)

この数年、お客様企業の教育投資が低調でしたが、前年度から回復基調となっています。しかし、当第1四半期連結累計期間では、出足が鈍く前第1四半期連結累計期間に対しては遅れる結果となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、53,138千円(前年同期比27.1%減)となりました。

#### 半導体事業

日本の半導体メーカーでは、昨年までの不振から一息つき始めている状況にあります。円安傾向に振れるなど半導体メーカーにとっては追い風の好材料も出始め、半導体メーカーの回復に我々もいち早く対応できるよう努力してまいります。

現状では、スマートフォンやタブレットPC等、最新の半導体を製造する工場にエンジニアを集中させるとともに、長引いていた円高や海外生産シフトが続く半導体業界の再編を見据え、半導体製造装置の部品修理・販売の強化や耐震装置キットの販売に注力し挽回を懸命に図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、249,630千円（前年同期比7.9%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、4.5%減少し、3,412,891千円となりました。これは、主として、「受取手形及び売掛金」が134,234千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%減少し、2,429,583千円となりました。これは、主として「のれん」が28,011千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、3.3%減少し、5,842,474千円となりました。

##### 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、5.4%減少し、2,002,988千円となりました。これは、主として「未払法人税等」が142,021千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、8.7%減少し、602,506千円となりました。これは、主として「長期借入金」が55,620千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、6.2%減少し、2,605,494千円となりました。

##### 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、3,236,980千円となりました。これは、主として「利益剰余金」に含まれる繰越利益剰余金が37,565千円減少したことなどによります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は7,352千円であります。

#### (5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループを取り巻く事業環境については、情報サービス事業では、業界全体が好景気というわけではなく、一部の分野に限って好調な分野があるといえます。一方、半導体事業では日本における半導体製造事業が苦戦を強いられる中、円安傾向や、日本のモノづくりの復活により緩やかながら回復の兆しがあります。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえて、情報サービス事業においては、利用価値の高い技術の蓄積と、それらを実務に反映させる実現力とをさらに磨いてまいります。一方、半導体事業では、新たなサービスの開発を行いながら、半導体メーカーの復活にいち早く対応してチャンスを逃さぬよう努めてまいります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	336,000
計	336,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	94,665	94,695	東京証券取引所 マザーズ市場	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 また、単元株制度は、採用して おりません。
計	94,665	94,695	-	-

(注) 1 提出日現在の発行数には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2 当社は、平成25年5月8日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、当社普通株式を1株につき200株の割合で分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用する旨決定しております。

効力発生日までに新株予約権の行使等が行われず、発行済株式数の変動がなかったと仮定した場合、株式分割後の発行済株式数は、18,939,000株となります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日 (注) 1	120	94,665	1,434	824,366	1,434	1,207,886

(注) 1 新株予約権(ストック・オプション)の行使による増加であります。

2 平成25年7月1日から平成25年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が30株、資本金及び資本準備金がそれぞれ358千円増加しております。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,533	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 また、単元株制度は、採用していません。
完全議決権株式(その他)	普通株式 87,012	87,012	同上
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	94,545	-	-
総株主の議決権	-	87,012	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) 株式会社豆蔵ホールディングス	東京都新宿区西新宿二丁目 1番1号	7,533	-	7,533	7.97
計	-	7,533	-	7,533	7.97

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,859,604	1,754,709
受取手形及び売掛金	1,405,178	1,270,943
商品	5,612	9,190
仕掛品	66,195	85,177
その他	240,131	293,704
貸倒引当金	3,574	834
<b>流動資産合計</b>	<b>3,573,147</b>	<b>3,412,891</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	144,130	142,141
無形固定資産		
のれん	811,016	783,005
その他	110,285	117,127
<b>無形固定資産合計</b>	<b>921,302</b>	<b>900,132</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	964,208	952,017
その他	493,006	491,784
貸倒引当金	56,643	56,493
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,400,570</b>	<b>1,387,309</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,466,004</b>	<b>2,429,583</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,039,152</b>	<b>5,842,474</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,857	275,720
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	233,370	230,640
未払法人税等	166,755	24,734
引当金	58,460	32,020
その他	557,897	639,873
流動負債合計	2,117,341	2,002,988
固定負債		
長期借入金	610,026	554,406
引当金	35,601	35,943
その他	14,038	12,157
固定負債合計	659,665	602,506
負債合計	2,777,007	2,605,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,932	824,366
資本剰余金	1,206,452	1,207,886
利益剰余金	1,320,317	1,284,570
自己株式	119,453	119,453
株主資本合計	3,230,248	3,197,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,277	11,434
為替換算調整勘定	2,589	4,015
その他の包括利益累計額合計	6,866	15,449
新株予約権	25,029	24,160
純資産合計	3,262,144	3,236,980
負債純資産合計	6,039,152	5,842,474

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,240,289	2,092,237
売上原価	1,589,003	1,485,916
売上総利益	651,286	606,321
販売費及び一般管理費	484,969	469,752
営業利益	166,316	136,568
営業外収益		
受取配当金	1,938	2,404
負ののれん償却額	1,901	1,901
その他	2,868	1,393
営業外収益合計	6,708	5,698
営業外費用		
支払利息	5,454	4,140
持分法による投資損失	16,053	23,303
その他	1,868	762
営業外費用合計	23,376	28,206
経常利益	149,648	114,060
特別利益		
負ののれん発生益	5,934	-
事業譲渡益	-	13,500
その他	2,425	7
特別利益合計	8,359	13,507
特別損失		
固定資産売却損	580	38
厚生年金基金脱退特別掛金	-	10,470
その他	-	113
特別損失合計	580	10,622
税金等調整前四半期純利益	157,427	116,945
法人税、住民税及び事業税	40,138	36,405
法人税等調整額	19,576	29,275
法人税等合計	59,714	65,681
少数株主損益調整前四半期純利益	97,712	51,264
少数株主利益	1,450	-
四半期純利益	96,262	51,264

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,712	51,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,669	7,156
為替換算調整勘定	2,651	1,425
持分法適用会社に対する持分相当額	79	-
その他の包括利益合計	60	8,582
四半期包括利益	97,773	59,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,323	59,847
少数株主に係る四半期包括利益	1,450	-

【注記事項】

(追加情報)

(株式分割及び単元株制度の採用)

当社は、平成25年5月8日開催の取締役会において、次のとおり株式分割及び単元株制度の採用について決議いたしました。

1. 株式分割及び単元株制度の採用の目的

当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、流動性の向上及び投資家層の拡大を図るとともに、平成19年11月に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式1株を200株に分割するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用するものであります。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の有する普通株式1株につき200株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式の分割前の発行済株式総数	94,695株(平成25年7月31日現在)
株式の分割により増加する株式数	18,844,305株
株式の分割後の発行済株式総数	18,939,000株
株式の分割後の発行可能株式総数	67,200,000株

(注) 上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成25年9月13日
基準日	平成25年9月30日
効力発生日	平成25年10月1日

3. 単元株制度の採用

(1) 新設する単元株の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成25年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりとなります。

1株当たり四半期純利益金額

前第1四半期連結累計期間	5円60銭
当第1四半期連結累計期間	2円94銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	
前第1四半期連結累計期間	5円44銭
当第1四半期連結累計期間	2円85銭

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	25,188千円	23,376千円
のれんの償却額	29,478	28,011
負ののれんの償却額	1,901	1,901

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 第13回定時株主総会	普通株式	42,940	1,500	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(注) 当社は、平成24年3月1日開催の取締役会決議に基づき、平成24年4月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。なお、株式分割は平成24年4月1日を効力発生日としておりますので、1株当たり配当額につきましては、株式分割前の株数を基準に記載しております。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 第14回定時株主総会	普通株式	87,012	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	情報サービス 事業	半導体事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,008,861	231,428	2,240,289		2,240,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,300		1,300	1,300	
計	2,010,161	231,428	2,241,589	1,300	2,240,289
セグメント利益	314,795	19,021	333,816	167,499	166,316

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	情報サービス 事業	半導体事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,842,606	249,630	2,092,237		2,092,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,350		1,350	1,350	
計	1,843,956	249,630	2,093,587	1,350	2,092,237
セグメント利益	289,770	18,212	307,983	171,415	136,568

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,120円61銭	588円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	96,262	51,264
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	96,262	51,264
普通株式の期中平均株式数(株)	85,901	87,078
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,087円31銭	570円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	2,631	2,751
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		



(重要な後発事象)

(共通支配下の取引)

当社は、平成25年4月25日開催の取締役会において、当社の連結子会社(出資比率100%)である株式会社オープンストリームとアクシスソフト株式会社が合併することを決議し、両社は、平成25年7月1日に合併いたしました。

1. 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

	存続会社	消滅会社
商号	株式会社オープンストリーム	アクシスソフト株式会社
事業内容	業務分析や要求定義を行う業務システムの開発支援サービス、業務システムの開発	データベース及びWebに関する製品開発・受託開発
設立年月日	平成12年1月4日	昭和62年11月6日
本店所在地	東京都新宿区西新宿2-7-1	東京都新宿区西新宿2-7-1
代表者	代表取締役社長 佐藤 浩二	代表取締役社長 佐藤 浩二
資本金	262,600千円	90,000千円
決算期	3月	3月
大株主および持株比率	当社(100%)	当社(100%)

2. 企業結合日

平成25年7月1日

3. 企業結合の法的形式

株式会社オープンストリームを存続会社とする吸収合併方式で、アクシスソフト株式会社は解散いたしました。なお、本合併は当社100%出資の連結子会社間の合併であるため、これに伴う当社に対する合併対価の交付はありません。

4. 結合後企業の名称

株式会社オープンストリーム

5. 取引の目的を含む取引の概要

子会社の規模に見合った適正な経営管理体制を整備し、当社グループにおける経営の合理化・効率化を図るものがあります。

6. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に定める共通支配下の取引等に該当し、これに基づく会計処理を実施いたしました。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月14日

株式会社豆蔵ホールディングス  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 尾 関 純

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 杉 山 勝

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮 田 世 紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豆蔵ホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社豆蔵ホールディングス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。